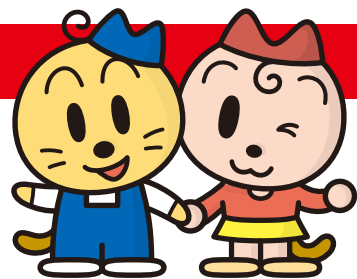


交通えひめ



平成28年1月20日発行

松山市勝岡町1163-7 愛媛県運転免許センター内 TEL 089-979-2101 FAX 089-978-4136 URL <http://www.ehime-ankyoku.or.jp/>

新年のごあいさつ



謹んで新年の挨拶を申し上げます。皆様方には、日頃から交通安全活動に御尽力いただきますとともに、警察行政の各般にわたり、深い御理解と多大な御支援をいただいておりますことに、対し、厚く御礼を申し上げます。さて、昨年の交通事故情勢につきましては、発生件数と負傷者数は平成17年以降11年連続の減少となりましたが、死者数は平成25年以降3年連続で増加しております。交通事故の特徴を見ますと、高齢者の死者数が大きく増加していることが挙げられます。昨年の死者78人の内、65歳以上の高齢者は49人と全体の3分の2を占め、中でも75歳以上の後期高齢者の死者数が9人増加するなど、死者数全体を押し



愛媛県警察本部
交通部長 藤田 聡彦



(一社)愛媛県交通安全協会
会長 矢野 精一

新年おめでとうございませう。皆様には、ご家族とともに健康やかな新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。さて、昨年の交通安全運動は、交通安全県民総ぐるみ運動愛媛本部の基本方針で示された「交通事故抑止・アンダー50」の目標達成を目指し、各地区交通安全協会をはじめ、県、警察、市・町等の関係機関・団体と緊密な連携をとりながら、効果的な交通安全諸施策を積極的に推進いたしました。その結果、県内における交通事故は、発生件数及び負傷者数は共に11年連続で減少したものの、死者数は78人(前年比+3人)となり、「アンダー50」の目標達成は叶わず、残念な結果となりました。特に高齢者の交通事故死者数は49人で、全交通事故死者中に占める高齢者の割合が人口構成率(29.7%)の2倍を超える62.8%となり、高齢者が事故を起こさない、事故に遭わないための取り組みに課題を残すこととなりました。新たな年を迎えて、愛媛県交通安全協会では、昨年に引き続き、年間の交通事故による死者数を50人未満にする「アンダー

50」の目標達成を、県民総ぐるみで再チャレンジするため、地区交通安全協会をはじめ、関係機関・団体等と心をつなげて、「電動車いす安全登録制度」の定着化と、夜間歩行中の高齢者被害の交通事故を防止するための「安全・安心反射ベスト」の普及と、中学生を対象にした交通安全に関する作文集「えひめの交通安全へ子供の願い」の発行、交通ルールに合った自転車安全乗方習得してもらったための交通安全ことも、高齢者自転車愛媛県大会の開催、二輪車の安全運転技能と正しい交通(走行)マナーを習得してもらったための「二輪車安全運転愛媛県大会」の開催、県内の交通安全実践と交通事故防止の着眼点を出した分かりやすい各種講習の実施など効果的な交通安全諸対策を積極的に取り組んでまいります。また、自転車や電動車いすの安全利用対策の一環として開始した「インターネット完結型の自転車向け保険」や「電動車いす利用者向け保険」についても、利用者の皆様が高額賠償への備えを怠らないよう、その周知に努めてまいります。皆様におかれましては、「交通ルールを守る」意識の一層の向上のため、引き続き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、本年が皆様にとりまして、最良の年となりますよう心から祈念し、新年のご挨拶といたします。

平成28年元旦

上げています現状にあります。こうした情勢を踏まえ、県警といたしましては、
◆高齢の歩行者・自転車利用者・ドライバーに対する取組
◆家庭・地域・職域で高齢者を交通事故から守る取組
◆高齢者にやさしい交通環境の整備に向けた取組を3本柱とした「シニア・セーフティ・プロジェクト」を立ち上げ、高齢者を被害者にも加害者にもさせない諸対策を推進し、交通事故の抑止を図ることとしております。

もとより、交通事故抑止等の効果を上げるには、関係機関・団体が緊密に連携し、一体となって県民一人ひとりの安全意識を高めるための取組みを継続的に進めることが不可欠です。

皆様には、家庭、地域や学校、職域における交通安全に関する各種の取組みを、より一層積極的に推進していただきますようお願い申し上げます。

終わりに、貴協会のますますの御発展と皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

***** 平成27年中の交通事故 *****

～交通死亡事故抑止“アンダー50”達成ならず
発生件数、負傷者数は共に11年連続減少、死者数は増加～

交通事故発生状況 (発生件数、負傷者数は概数)

区分 項目	四国								全国	
	愛媛		香川		徳島		高知		27年	前年
	27年	前年	27年	前年	27年	前年	27年	前年		
発生件数	5,086	5,745	7,824	8,942	3,866	4,372	2,391	2,690	536,789	573,842
死者数	78	75	52	52	27	31	30	41	4,117	4,113
高齢者	49	46	33	33	17	19	19	25	2,247	2,193
構成率	62.8%	61.3%	63.5%	63.5%	63.0%	61.3%	63.3%	61.0%	54.6%	53.3%
負傷者数	5,962	6,817	9,552	11,044	4,825	5,443	2,732	3,002	665,126	711,374

交通事故(5,086件)の特徴 → 大幅に減少(前年比-659件)

- ① 交差点事故が減少するも、依然として全事故に占める割合が高い
 - ◆ 2,077件発生(全体の40.8%)。うち信号機のない交差点での事故1,373件(27.0%)。
 - ◆ 死者20人。負傷者2,324人。
- ② 歩行中の事故が減少幅が少なく高止まり
 - ◆ 495件発生(全体の9.7%)。うち道路横断中の事故285件(5.6%)。
 - ◆ 夜間歩行中の事故が増加(209件、4.1%)。

交通死亡事故(78人)の特徴

- ① 「高齢死者(65歳以上)」の割合が高い
 - ◆ 全死者78人。うち**高齢死者は49人(前年比+3人)**。構成率62.8%(全国平均54.6%)。
 - ◆ 高齢死者49人。うち75歳以上の後期高齢者が39人(前年比+9人)。
- ② 歩行中・自転車乗用中の死者が多い
 - ◆ 歩行中の死者が27人(前年比-2人)。
 - ◆ 自転車乗車中の死者が17人(前年比+4人)。

全国初!“電動車いす安全登録制度”登録料無料!

- 登録開始(平成26年1月)から2年経過。登録は順調に進んでいます。
 - ◆平成27年12月末現在で登録取扱所154か所。登録数1,970件(削除数を除く)。
 - ◆万一のリスクに備え、「電動車いす保険」(年齢制限なし。対人・対物賠償1億円など)への加入をお勧めしています。
- 電動車いすの「登録」は各地区交通安全協会や電動車いす取扱店で、「電動車いす保険」は愛媛県交通安全協会で行っています。お早めに!

登録するメリット

- 「電動車いす交通安全教室」の開催案内やきめ細かな交通安全情報の提供を受けることができます。
- 盗難予防や盗難・遺失後の早期発見に役立ちます。
- 安価な保険料(年2,400円)で、手厚い損害賠償(対人・対物)に加入できます(新設)。



電動車いす交通安全教室(松前町)



電動車いす被登録者への巡回指導



平成28年使用 交通安全年間スローガン最優秀作品

○運転者(同乗者を含む)向け

こんばんは
早めのライトで
ごあいさつ

○歩行者・自転車利用者向け

シニアこそ
ジュニアのお手本
交通安全

○こども向け

しんごうが
あおでもよくみる
みぎひだり

平成27年度 小・中学校児童生徒の作文募集 「えひめの交通安全へ 子供の願い」入選作品より



命を守るヘルメット 八幡浜市立愛宕中学校 一年 橋田 佳奈

「携帯電話がつかない。」
「どうしたの？」
「何があったの、お母さん！」
約束の時間を過ぎてても、母は帰ってきませんでした。母に何があったのか心配で、不安な気持ちでいっぱいになった、昨年の父の日の出来事です。
母は農作業の帰り道に、バイクで転倒してしまいました。すぐに入院し、顔面骨折の手術を受けるという大きな交通事故にあってしまったのです。頭を強く打ち、一時は意識を失っていた母ですが、幸運にも命に別条はなく、家族みんなで胸をなでおろしたことを、今でもはっきりと覚えています。
病室で横になっている母の顔や手足には、複数の傷がありました。また、衝撃の強さを示すように顔中がはれていました。痛そうにベッドに寝ている母の姿を見て、私は涙が止まりませんでした。
母は、私に「ヘルメットのおかげだね。」と言ってほほ笑んでくれました。その時初めて、「ヘルメットが母の命を守ってくれたのだ。」と気づき、ヘルメットへの感謝の気持ちがわいてきました。
普段、何気なく着用していたヘルメット。「かっこ悪いし、髪型がくずれるから、かぶるのはいやだな。」と思っていたヘルメット。しかし、母の一言で、そんな気持ちでかぶっていた自分はずかしく、情けなくなりました。「これからは、いつもありがたうという感謝の気持ちを忘れないで、しっかりと着用しよう。」と思うようになりました。そして、私自身の交通安全に対する意識も少しずつ変わっていきました。
中学校に入学して、五月には交通安全教室がありました。自転車点検を受け、自転車の練習を行いました。自転車は身近で便利な乗り物ですが、事故に対してはとても無防備な乗り物でもあります。自転車を快適に、安全に利用するために大切なことを学びました。一つ目は、正しくヘルメットを着用することです。二つ目は、交差点では一時停止をすることです。三つ目は、青信号であっても、周囲の状況に細心の注意を払って走行することです。最後に、歩行者の近くを通る時は、歩行者を優先し、徐行することです。私は、この交通

安全教室で、周囲の状況から事故の危険性を読み取り、危険を遠ざける注意力がとても大切だと学びました。
今年の七月には、愛媛県内の県立高校生のヘルメットの着用義務化がスタートしました。通学時にすれ違う高校生は、みんなきちんとヘルメットを着用しています。ヘルメットは、交通事故の頭部へのけがを防いでくれます。それだけではなく、ヘルメットの着用によって、一人一人の交通安全の意識が高まり、自転車の運転マナーが向上していくことも期待できていると思います。今後は、高校生にとどまらず、自転車に乗るすべての人がヘルメットを着用することで、万が一の事故に備え、自らの命を大切に守ってほしいと思います。
テレビでは、毎日のように交通事故のニュースが流れています。その原因の多くは、スピードの出し過ぎ、飲酒運転等の運転者の不注意によるものです。しかし、このような事故は、運転者の心がけや思いやり一つで防ぐことができると思っています。今の私にできることは、「交通ルールを絶対を守る」ことです。これは、当たり前のことですが、この当たり前のことが、考え事や携帯電話などの「ながら運転」のために守れなくなって、事故という結果につながっているのだと思います。事故が起きてから反省しても遅いのです。
交通事故は、被害者と加害者のどちらにとっても何一つ良いことはありません。本人だけでなく、家族や友達も悲しませることになります。被害者にも加害者にもならないために、これからは、自転車に乗っている時はもちろん、歩いている時も、交通安全に気を配り、交通ルールの遵守を実践していこうと思います。そして、自転車に乗る時は、必ずヘルメットを着用し、一つしかない命を大切にしていきたいと思っています。
母の交通事故はショックな出来事でしたが、私に交通安全と命の大切さについて考える機会を与えてくれました。そして、ヘルメット着用の大切さも教えてもらいました。あれから、家族で交通安全について話し合うことが増えました。母の事故をむだにしないためにも、これからも交通安全について家族で話し合いを続けていこうと思います。このような話し合いがどの家庭でも行われ、交通安全の意識が高まれば、交通事故のない、安心して暮らせる町になると私は思います。

あなたの自転車に《安全・安心のTSマーク》付いていますか!!

年に1回、セフティちゃんの自転車安全整備店で、点検・整備を受けると、安全な自転車のしるしとしてTSマークが貼付されます。
TSマークには、賠償責任保険と傷害保険の2つがセットになった1年間の損害保険が付いているので安心です。

○ 賠償責任補償 (最高限度額)	5,000万円
○ 傷害補償 (死亡・重度後遺障害)	(一律) 100万円
○ 傷害補償 (入院加療15日以上の傷害)	(一律) 10万円
○ 被害者見舞金 (入院加療15日以上の傷害)	(一律) 10万円

詳しくは、お近くのセフティちゃんの自転車店へ。



自転車対歩行者の交通事故件数の増加とともに、高額賠償の支払いを命じる判決(平成25年 神戸地裁 9,500万円ほか。)が増えています。TSマークを貼るとともに、インターネット完結型のサイクル保険への加入をお勧めします。
詳しくは「愛媛県交通安全協会ホームページ」をご覧ください。

謹賀新年

本年も各地区の交通安全活動につきまして、御支援のほどよろしくお願い申し上げます。



栄えある受賞おめでとうございます

多年にわたり、交通安全活動に顕著な功労があった交通安全功労者、優良安全運転管理者及び優良運転者に交通安全章・緑十字金章・同銀章が、模範的な活動で成果を上げた交通安全優良団体等に表彰状が授与されました。

第56回交通安全国民運動中央大会における受賞者・団体 (平成28年1月15日)

	交通安全功労者・優良安全運転管理者	優良運転者
緑十字金章	 八幡浜市 川本 茂二	 西予市 平磯 敏
緑十字銀章	 四国中央市 石川 幸子	 四国中央市 岡田 匡功
	 伊予市 泉 正紀	 西予市 三好美也子
	 砥部町 永田サツキ	 松山市 高井平八郎
	 内子町 藤岡 清重	 西予市 洲家卯太磨

団体表彰

- *交通安全優良団体 愛宕椿寿会 会長 松本 勝義
- *交通安全優良事業所 株式会社西条ドライビングスクール 代表取締役 中村 忠司
- *交通安全優良学校 松山市立雄郡小学校 校長 大本 光浩
- *優良交通安全協会 一般社団法人宇摩交通安全協会 会長 星川 一治
- *優良安全運転管理者協議会 八幡浜安全運転管理者等協議会 会長 渡邊 一正

